長泉町生活支援体制整備事業　新聞

令和５年２月　新聞発行番号１７

振り返ることも大切

　まだまだ寒さが厳しいですが、気づけば令和４年度も残すところ僅かとなり、新しい季節の始まりが少しずつ近づいてきております。

　皆様にとって令和４年度は、どのような年でしたでしょうか。本年度も協議体の皆様は様々な活動を行ってきましたが、継続して物事を進めるときは、PDCA サイクルを意識して行うことが大切です。より良い活動を行っていくためにも振り返りをして、次につなげていきましょう。

第１層協議体

　第３回目が令和５年２月７日に行われました。第３回目では、各第２層協議体の活動状況についての情報共有、生活支援ガイドブックの改訂に向けた意見交換が行われました。

　第２層協議体の活動状況については、第１層生活支援コーディネーターから、裏面の事を協議体構成員へ伝えさせていただき、それに対して様々な意見をいただいたので、また第２層協議体構成員に伝達していきます。

　生活支援ガイドブックでは、地域のどこで、どのような活動が行われているか一目でわかるように、地図アプリ GoogleMap の活用の検討を進めています。

イメージです

長泉町生活支援体制整備事業　新聞

北小学校区　第２層協議体

「やまびこ」では、池田区の協力のもと、高齢者の困りごと調査（65 歳以上の１人暮らしを対象）を行いました。アンケート結果は、最も多いのが、「生活の足が無い」18.5%、次に多いのが、「スマホ等の使い方」11.1%、３番目に「ゴミ出し」「修理(電球交換)」「話し相手」7.4%でした。

この結果を踏まえ、生活支援サービスの準備を急ピッチで進めております。また「担い手養成研修の参加者」「広報やまびこを見て連絡くれた方」など、サポーター集めも行っています。１月下旬には、サポーターに手を挙げていただいた方に対して説明会も開催し、徐々に体制が整備されつつあります。

長泉小学校区　第２層協議体

「ながいずみ支え合いの会」では、「チームつながり」事業の一環で、富士市の富士見台地区にある「富士見台支えあいセンター」との交流会を開きました。「チームつながり」と「富士見台支えあいセンター」は、立上げの経緯、時期、内容など多くのことが類似している者同士です。

当日は、「チームつながり」から１６名、「富士見台支えあいセンター」から１１名、その他関係者８名の３５名が参加し、それぞれの活動紹介やグループに分けて意見交換を行いました。お互いの運用や方法などの具体的な内容、自分の想いなどについて共有し合い、刺激をもらう機会となりました。

南小学校区　第２層協議体

「ＡＹＵＭＵ」では、新たな試みとして「ボッチャ」の普及を試みています。そのため、静岡県障害者スポーツ指導協会理事の猪浦玲子（日本パラスポーツ公認指導員）さんを講師にお招きし、「ＡＹＵＭＵ」メンバーに対して講習会を行いました。猪浦さんからは、競技のルール以外にも様々なことを学びました。

「ボッチャ」は、障がいを持っている人のスポーツとして始まりましたが、現在は、障がいの有無、年齢に関係なく広く行われるようになりました。町内でも、小学校の授業でも行われており、中には、ボッチャクラブが出来た小学校もあります。今後は、ボッチャを通じた地域づくりも期待されます。

令和4年度の研修・勉強会の振り返り

【第２層協議体勉強会】「地域福祉活動と生活支援体制整備事業について」(11/16,30、延べ 30 名参加)
「活動を知ってもらうための周知・啓発について」(2/17 開催予定)
【ボランティア育成研修】「コミュニケーション技法について」(7/14、18 名参加)
「コーディネーターの役割について」(11/22、14 名参加)
「新たな担い手養成講座」(9/28,10/31,1/13,17、延べ 43 名参加)
【住民への啓発事業】「地域たすけあいフォーラム」(12/14、89 名参加)

本年度は、6種類 13 回行いました。多くの構成員にご参加いただきました。来年度も様々な研修・勉強会を開催していきます。

社協　発行元　社会福祉法人長泉町社会福祉協議会　長泉町下土狩 967－2 TEL 055-988-3920